



令和4（2022）年度男女共同参画推進活動事業

# 男女共同参画につながる 市民企画事業報告書



さぬき市

## 令和4(2022)年度 男女共同参画につながる市民企画事業一覧

### うるし DE あーと



うるしのキーホルダー作りを通して、性別や国籍、障害の有無にかかわらず、興味を持った誰もが地域の伝統に触れる機会や、親子で触れ合う時間を創出すると同時に、講師（女性の漆職人）の話聞くことで、誰でも性別にとらわれずに職業選択できることを伝えたいと開催した。さまざまな方が世代を超えて交流する良い機会になった。今回得られた反省点を活かしながら、今後も継続的な取組を企画していきたい。

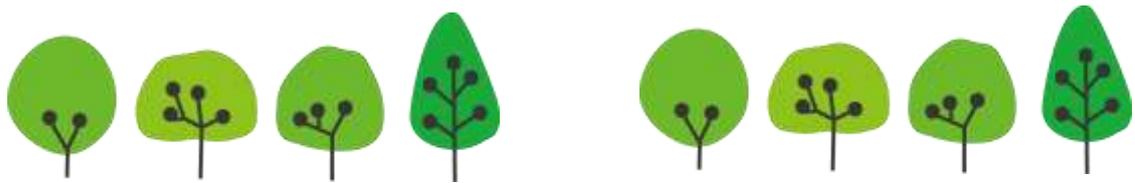
《あそび塾》

### 育児者の休憩所づくり



育児者を中心とした市民の休息の場、また女性の個人事業主に活躍の場を提供することを目的に、豊かな自然に囲まれた自宅の庭を開放し、子どもたちが遊び、保護者が休息をとる場所を提供した。本年度は、場所を知ってもらうため、夏祭りや焼き芋会などの親子で楽しめる催しなどを開催した。今後は、対象を広くし、この場所に出逢った人どうしが新たな繋がりを持ち、得意なこと、知識を交換できるような、学びあいの場にしていきたい。

《山下礼美》



# うるし DE あーと

《あそび塾》







## 事業報告書

事業の名称	うるし DE あーと
-------	------------

### ■事業の実績

【目的】性別や国籍、障害の有無に関わらず、興味を持った誰もが、地域の伝統に触れる機会及び親子が触れ合う時間を創出する。また、講師の女性の話を聞くことで、性別にとらわれずに職業選択できることを伝える。

日時 : 令和4年10月9日13時～16時

場所 : みろく公園内みろく荘

企画 : 漆のキーホルダー、ブローチの作成

対象 : さぬき市内の親子(小学生以上)7組を公募

参加費 : 1組 1000円(キーホルダー、ブローチ制作費、保険料含む)

公募方法: メールにて申込、締切後、決定者に連絡

その他 : 興味のある方の自由な見学

※ 10月26日反省会

### ■事業の効果

【工夫した点、効果】

参加者を募集しての実施であったが、広く興味を持ってもらうために、囲われた部屋を会場にするのではなく、通りかかる方にのぞいてもらえたらと、普段はみろく公園の休憩所に開放されている「みろく荘」でワークショップを開催することとした。当日はあいにくの雨で、公園に遊びに来る方は少なかったようだ。作品制作とともに、講師より紙芝居として「漆のおはなし」を聞いてもらった。小冊子を配り持ち帰ってもらった。

作業に疲れた子が後ろの遊具で遊んだりすることがあったが、結果的に、区切られた空間でなくこの会場であった為、大きな混乱なく、工程が進められたように思う。今回は天気が悪く、休憩所を利用する人はほぼいなかったが、公園を利用する人が気楽に出入りできるこの施設は、今後企画をするにあたってとても良い場所だと考える。次回は天気の良い日に、いろいろな方にのぞいてもらいたい。

参加者は、お父さん、お母さん、おばあちゃん、男の子、女の子と、興味のあるいろいろな方に参加してもらえた。講師が話した「うるしの話」を、親子で冊子を見なおす姿や、作品制作の中でコミュニケーションをとる風景が見られた。まだまだ男社会の職人という業種の中で、講師が伝統工芸の世界で切磋琢磨している姿の一部でも、参加者に感じていただけたのではないかと思う。

【アンケートより今後に向けて】

漆については、「聞いたことある程度」の方が大半で、今回のワークショップについては、「たいへんよかった」と言って頂けた。

<〇参加者の声… →今後に向けて>

- 〇エプロンがあれば汚れにくかったと思うので、持物の中に入れていたらよかったかなと思います →次回よりお知らせすることにします
- 〇よいことをしているので、広報活動がんばって下さい
- 〇親子とも初めての体験でしたが、丁寧に教えていただき素敵な作品ができました
- 〇保護者として参加した結果は満足です。子供に対して漆とはどういうものなのかを教える良い機会になりました。ちなみに子どもも満足しており、次回開催されれば再度参加してみたいと。
- 〇小学生でも集中できない子がいる（途中で飽きた子、早く出来た為暇だったのかもしれない子）。高学年を対象でもよかったのではないかと。→企画内容、時間も含め、対象を適正なものにしていければと思います
- 〇見本や見本の写真などがあれば、子どもたちも考えやすかったかなと思いました
- 〇完成サンプルが欲しい（完成形をイメージして…と言われてもなかなか難しい。簡単なサンプルがあればイメージしやすかったかも。勿論、たまたまできた形も面白いこともある。実際に他参加者の作成したものを見て「こんな形もあったのか」と思いました）→めざすものがあれば、作業のとりかかり、作業途中で偶然に出会えたら変更有で進められたらスムーズだったと思います。また、作業途中で他の参加者の作品見学の時間を取るのも良いと思いました
- 〇削り、磨きの工程がわかりづらい（サンドペーパーの番手を変えながら削り、磨き進めるが、タイミングがわかりづらい。工程ごとの参考画像的なものがあるれば、よりスムーズに作業できたのではないかと）→感覚的なものもあるようで、難しいこともありますが、目安としてお知らせなり明示ができればと思います。検討します

たくさんの愛情あるご意見がありがたかった。丁寧に考えていただき、柔軟なご意見を頂いた。とても参考になり、次につながるもので、ご回答頂いた方々に感謝したい。

■次年度以降の事業予定

性別や国籍、障害の有無に関わらず、興味を持った誰もが、地域の伝統に触れることで、古きよきものを再認識し、固定概念を取り払い、誰もが活動しやすい世の中になることを願う。今回漆の企画で、募集から実施に至るまでの流れを、通してやってみたことで、問題点も幾分かかった。改善しながら、漆の企画は年に数回、また、漆以外でも長く活動を続けていきたいと考えている。





## 育児者の休憩所づくり

《山下 礼美》



# 育児者の 休憩所づくり

山下 礼美

育児をゴロゴロしながら  
楽しめたらイのになあ〜



育児者の憩いの場、女性の個人事業者の  
活躍の場をつくりたく、場所を知ってもらう  
ための催しを4つ開催しました。

## お灸とおにぎりの会

日時: R4. 7月30日(土) 10:00-16:00

参加人数: 5人

豊島にある「てしまの鍼灸院」ドンドロ  
浜商店」による夏の養生タイム。子ども達が  
ウロチョロするなか、母はゆくりお灸...  
賑やかな中でも楽しんでもらえました。

日頃の身体の様子を  
ヒアリングしています。  
休くとした  
よい時間でした。



## <工夫した点>

Instagramの告知で反響  
がうすかったのでチラシを作成。  
子どもが通う園の先生方に伝わり  
参加につながった。

参加者の声...  
コロナ禍で学校行事中止が  
続いたため、子ども達が  
心に残っていたお灸を楽しんで  
ほしい。



## <工夫した点>

持続可能な催しにするため、参加チケット。  
遊び道具などは、新聞紙、ペットボトルなど、極力  
費用をかけるに制作した。

## 小さな夏祭り

日時: R4. 8月21日(日) 9:30~10:30~  
(2部制)

参加人数: 各回5組(27人)

ホーリングなど4つのゲームに子ども達がチャレンジ。  
元気あふれる子ども達、大人ものせられ右往左往。  
大人も子どもも笑顔で楽しい時間も過ごしました。

## 育児のお悩み相談会 ☺

日時：R4. 9月10日(土) 10:00-11:00

参加人数：1組(2人)

“育児のアレコレおはなし会”と題して、生涯学習課、どき保こども園課の方にもご協力頂きました。参加者は1組という結果に、平日開催がよかった等、反省点が多くありました。

### <反省点>

情報公開が遅く、活動の認知度が低かった。地域の需要にあう内容など、日頃から育児者とのヒアリングが必要だった。飲食の出店など“楽しみ”がある方がよかった。



「育児会のあはなし」  
快くいただきました。

## 焚火と焼き芋会 ☺

日時：R4. 12月20日(火) 10:00-12:00

参加人数：6人

個人事業としている人同士が集まり、互いの情報交換の場になった。市役所の方々も来られて市民企画事業を広く知ってもらうきっかけにもなった。

17度にあたりながら  
おいでなさい。  
お天もよく  
よい日でした!



### <反省点>

焼き芋が一部炭化してしまった。  
ストップウォッチ管理が必要だった。

## 事業の交効果

対象を“育児者”にした活動だったが、

今後は対象は広くし、様々な人がつながりを持ち得意なことを互いに学びあえる場にしたと考えます。

この土地(南川)ならではのダイナミックな自然との関わりあいができるとよいとも思う。(つるでかご編み、炭焼き等)

事業を行ったことで、計画、集客、実践の労力がかかることを

身をもって知れたので、自分の楽しめるペースで季節ごと活動を続けていきたいと考えます。

## 事業報告書

事業の名称	育児者の休憩所づくり
-------	------------

### ■事業の実績

#### 【実施内容、開催日時、参加者数 など】

育児者を中心とした市民の休息の場、また女性の個人事業者の活躍の場を提供することを目的に、豊かな自然に囲まれた庭を開放し、子どもたちが遊び、保護者が休息をとる場所を提供した。場所を知ってもらうため、本年度はいろいろな催しを開催した。

#### ①お灸とおにぎりの会

日時 : 令和4年7月30日(土)10:00~16:00

場所 : 自宅敷地内

内容 : 豊島で鍼灸院、食事処を営む女性2人との交流

参加人数: 5人

#### ②小さな夏祭り

日時 : 令和4年8月21日(日)9:30~, 10:30~ ※2部制

場所 : 自宅敷地内

内容 : ボーリングなど4つのゲームを用意し、保護者と子どもたちが一緒に楽しめる小さな夏祭りを開催

参加人数: 各回5組(計27人)

#### ③育児のお悩み相談会

日時 : 令和4年9月10日(土)10:00~11:00

場所 : 椿の庄さんがわ

内容 : 保育園の入園準備が始まる10月において、手続の段取り、日頃の悩み、仕事との両立など、育児にまつわるお話を開催。入園案内については、幼保こども園課の担当者に参加頂き対応

参加人数: 1組(2人)

#### ④焚き火と焼き芋会

日時 : 令和4年12月20日(火)10:00~12:00

場所 : 自宅敷地内

内容 : 焚火と焼き芋をしながらの交流

参加人数: 6人

## ■事業の効果

### 【工夫した点】

- ①インスタグラムのほか、手書きのチラシを作成し、よく利用していた支援センターへも配布した。
- ②市民に広く利用してもらいたいと考え、知人に集客、企画、準備の手伝いを依頼した。持続可能な催しとするため、極力費用をかけず、身の回りにあるものを活用した。
- ③"育児のアレコレお話し会"と題し、気軽に参加しやすい雰囲気にした。チラシもポップな印象のものにした。市や社会福祉協議会に協力してもらい、様々に対応できるようにした。
- ④寒い季節だったので、開催時刻を日中にし、体が冷えないよう対策を講じた。さつまいも持参可能にして、気軽に参加できるようにした。

### 【反省点】

- ①子連れの参加のお子さんが泣いてしまい、お灸施術がお昼の休憩時間にずれ込んだ。時間設定について考える必要があった。また、子どもたちが自由に部屋を出入りするため、施術スペースをカーテンで囲う等もっとリラックスできるように工夫すべきだった。
- ②駐車スペースに限りがあり、1部と2部の入替わり時に車がごった返した。時間の間隔をもう少し広く取ったほうがよかった。また、保護者が全員母親だったので、男性の参加をもっと呼びかければよかったと感じた。
- ③情報公開が遅かったことと、活動の認知度が低かったことと思うように人が集まらなかった。育児者が集う場所へ出向き、自分の活動を知ってもらうことが必要だと痛感した。選択肢も限られているなか、相談できる身内が近くにいたり、同じ立場の友人に話すことで育児の悩みを解消している人が多かった。お話し会だけでなく、飲食の来店など楽しみがあった方がよかった。
- ④会話に夢中で、さつまいもが一部炭化してしまった。ストップウォッチで時間管理すべきだった。

### 【参加者からの意見等】

- ①おにぎり、おかずは豊島産のものを使用したため、開催前から素材に惹かれる…との声を頂いた。"お米がもちもちしていて美味しい"など、おにぎりが絶賛された。お灸のお土産つきだったので、家庭でも続けてみる等、身体のケアに前向きなコメントを頂いた。※子どもたちがワイワイと騒がしい中の開催だったが、参加された方々は、その点はあまり気にならなかったとのこと。
- ②子どもたちが心待ちにしていたお祭りを一緒に楽しめて嬉しかったとの声を頂いた。
- ③土日は家族で過ごすことが多いので、平日の開催が行きやすいとのこと。
- ④近隣で個人事業をしている人どうしが集まり、互いを知り、情報交換の場になった。参加者に市民企画事業を知ってもらうきっかけになった。

## ■次年度以降の事業予定

対象を育児者に限定した場所づくりを予定していたが、今後は対象を広くし、この場所では出逢った人どうしが新たな繋がりを持ち、得意なこと、知識を交換できるような、学びあいの場にできればいいと考えている。また、地域(南川)で炭焼き窯の再生活動に加わっているため、地域の方の持っている技術、自然との付き合い方など伝承する場にもしていきたい。

## 令和5(2023)年度 男女共同参画推進活動事業一覧

### 1. 孤立しがちな外国人家族の支援～「ごみの分別と正しい出し方」(保存版)の外国語版作成を核に～

#### 《事業の目的》

「多文化共生の理解促進」を具体化する事業であり、孤立しがちな外国人との共生を目的にしている。

#### 《事業の効果》

外国人家族に対する班内外の困惑や苦情、当事者の孤立感や疎外感情が解消されるだけでなく、他の会員の固定観念の解放を促し、社会的弱者に対する人権意識に根ざした活動が活性化できる。

《三井団地自治会》

### 2. さぬき市で子どもたちが思いっきり遊んで楽しみ学べる「さぬきキッズフェスティバル」

#### 《事業の目的》

コロナ禍で他者とのかかわりの中で体を動かして遊ぶ機会や、デジタル化により本を読む機会が減った子どもたちが安心して全力で遊べる場、本を読むきっかけを作る。

#### 《事業の効果》

子どもたちに全力で遊ぶことのおもしろさ、性別にとらわれず自分を表現する楽しさ、本と出逢う喜びを感じてもらうことが、それぞれが個性や能力を発揮し「自分らしく生きる」ための一助となる。また、さまざまな子どもたちがともにあそぶことが、地域の輪を広げるきっかけになる。

《さぬきキッズフェスティバル実行委員会》

※記載内容は、実施計画書に基づく。



**令和4(2022)年度男女共同参画推進活動事業  
男女共同参画につながる市民企画事業報告書**

さぬき市市民部人権推進課

〒769-2195 さぬき市志度 5385 番地 8  
TEL : 087-894-9088 / FAX : 087-894-3000  
E-mail : jinkensuishin@city.sanuki.lg.jp